



# まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和6年 5月30日

豊玉中学校だより No. 13

【E-mail】 [shimura.osamu@nerima-ky.ed.jp](mailto:shimura.osamu@nerima-ky.ed.jp)

【URL】 <https://www.nerima-ky.ed.jp/toyotama-j/>

先日は保護者会に多数の保護者の皆様にご来校いただきまして、ありがとうございます。皆様の本校へのご関心とご期待の高さを感じ取ることができました。校長として2年目を迎え、昨年の反省を生かし、教育目標の達成に向け、教職員一同更に努力してまいりますので、よろしく願いいたします。また、学校行事や保護会、学校公開の際にはご来校いただき、生徒たちの努力する姿や成長をご覧いただきますよう重ねてお願いいたします。

今回の学校だより「まがたま No.13」では、5月13日の全校朝礼にて生徒に向けて話した内容を紹介させていただきます。

今日はよくある定番の話になりますが、実際に自分自身が感じ、話したくなった話「あきらめず自分の可能性を信じ続ける」という話をします。

～ 中略 ～

植物にも人間と同じように個性、特性があります。植物を育てるのには光と水が必要になるため、育ててもらいたいとの優しさで日光に当てすぎると枯れてしまう植物や、水をあげすぎると根っこが腐ってしまう「根腐れ」を起こして枯れてしまう植物もあります。肥料も大切ですが、肥料をあげるタイミングや分量もそれぞれ違いがあるのです。肥料をあげすぎても枯れてしまう植物もあるのです。あまり甘やかさず、ぐっとこらえて水や肥料を控えることも大切なのです。また、植物の中には桜などのような樹木やチューリップのような球根植物・宿根植物など、毎年葉が茂り花を咲かす植物もあれば、1年で枯れてしまうけれど種でまた育っていき花を咲かす植物もあります。

このように私は植物、特に花を育てているのですが、その中に「カラー」という植物があります。カーネーションやあじさいと並んで、昨日の「母の日」の贈り物としても使われる植物です。カラーは球根植物で地上部分が枯れても球根が地中に残り、また芽を出し、葉が茂り、花を咲かせます。しかし今まで育てていたカラーは、1年で枯れ、残った球根を埋めておいても芽を出すことがありませんでした。ところが今年、3年ぶりに芽が出た鉢を見つけたのです。そして、それから続けて4鉢、14本も芽が出てきたのです。3年も経ち、半分あきらめていたのですが、温かくなり太陽の当たる場所に鉢を移動させ、ダメ元で水をあげ続けました。そうしたら芽が出たのです。目に見えている部分は枯れ、何もなくなっても球根は生き続けていた、見えない土の中で養分を蓄え、育ち続けていたのです。とても感動しました。

前置きが長くなりましたが、3年ぶりに出てきた芽を見て感動したのと同時に、「人間も同じなのだ」と思いました。今現在、学習面で成果が出なかったり、部活動などでうまくならなかったりして、あきらめかけている人がいるのではないのでしょうか。自分には才能も力もなく努力しても無駄だと決めつけてしまっている人もいるのではないのでしょうか。しかし、人間には自分すらも気付いていない力、また周りの人間にも見えていない力があり、あきらめず努力していればいつか表に表れてくることもあるのです。一見のんびりしていたり、怠けているように見えたりする人間でも、知らないところで、見えないところで努力していて、それが表に表れることもあるのです。どうせうまくいかないとな努力を止めてしまったり、苦手だからと取り組むのを止めてしまったりしては皆さんの中にある力、「潜在能力」が発揮されずに終わってしまいます。「自分なんか」とあきらめてしまっただけでは成果が出ずに終わってしまいます。だからこそ、あきらめず、自分の可能性を信じ続けてほしいと強く願っています。これから運動会練習が始まります。運動会が終わると進級・進学して初めての定期考査もあります。ぜひ「あきらめず、自分の可能性を信じ」、様々なことにチャレンジし、努力し続けていてください。一人一人が成長し、自分らしく咲き誇ってほしいと願っています。本日は「あきらめず自分の可能性を信じ続ける」という話をしました。以上です。

<全校朝礼校長講話 一部省略>

## 前期生徒総会

教諭 湯本 清人



5月17日（金）に前期生徒総会が開催されました。生徒手帳の生徒会組織図にもあるように、総会は組織の上では最高議決機関と位置付けられています。だから、生徒会を始め、各専門委員会の活動方針や活動内容が発表され、全校で共有をした上でその内容の決議がなされたわけです。決議がなされたわけですから、生徒会に所属する皆さんは、その取組に協力をする義務を果たさねばなりません。これが民主主義の世界です。しかしながら、現在の大人社会では決められたことにもかかわらず、協力をしないどころか相反する振る舞いをしたりする姿も見受けられます。また、決められたことを自分の都合に合うように拡大解釈をしたりする行動や言動も見受けられます。決めたことは、時代と共に見直すことも時には必要なことです。されどそれらは、きちんとした手順を踏みながら、議論・決議をしていかねばならないのではないのでしょうか。豊玉中学校生徒会には、総会に準ずる議決機関として中央委員会があります。分からない部分や、気になる点はこの機関で、質問しながら趣旨や内容を理解し、これからの学校生活における良い活動に繋げていってほしいと考えています。

振り返りアンケートの感想に「今まで、知らなかった活動や取組を知ることができて良かった」「多くの場面で学校のために動いてくれていることが分かった。協力できるところは協力していきたい。」「全校生徒の前で堂々と話している先輩方がとても格好よかった。これから先、チャンスがあれば委員会に積極的に挑戦していきたい。」などの感想が多く書かれていました。多くの生徒が生徒会活動を好意的に受けとめてくれていることをうれしく思います。感想に書いた時の気持ちを忘れずに、一人一人が豊玉中学校を作っていく一員としての自覚をもって、今後も学校生活を送ってほしいと思っています。

## まがたまプロジェクト2024 始動！

生徒総会の中で、昨年度よりスタートした「まがたまプロジェクト」の今年度の説明がありました。生徒の皆さんが主体的に取り組んでいるこのプロジェクトを紹介します。

### ～まがたまプロジェクトの3大目的～

I 豊中生の想いを形にして、どんなときでも「豊中が大好き！」と想えるような、居心地のよい学校にする。

**→学習も部活も生活も、主体的に取り組める！**

II 生徒主体で企画・行動することによって、豊中生に自分たちで学校をつくることの大切さや面白さを伝える。

**→今後の学校生活を充実させる！**

III 小学生に豊中のアピールをする。

**→楽しそう！入学したい！と思ってもらえる学校づくりになる！**

しっかりとした目的をもって取り組もうとしている、まがたまプロジェクトの役員・メンバーが、今年度はどんなことを立ち上げ、邁進していくのかをとても楽しみにしています。

皆さんのアイデアで、豊中生の学校生活が、充実した豊かなものになることを期待しています。

\*邁進（まいしん）：目的に向かってひるむことなく突き進むこと

＝昨年度の活動＝ ★PTAの皆様にご後援いただいています。



初代公式キャラクター  
まがちい



デザイン作成  
配布した紙ファイル



新入生をお花で歓迎  
チューリップの栽培